

◆全日本有力タウン誌50社のネットワーク◆

日本タウン誌協会座談会

地域に根ざし

多彩な情報発信を

月刊神戸っ子

小泉康夫 理事長

月刊日本橋

上林武人 副理事長

月刊TOWNはりま

笛間清一 副理事長

月刊バスケット

内山明夫 専務理事

マイ奈良

清水信夫 事務局長

出席者

それぞれのエリアごとに活動しているタウン誌の全国的組織である日本タウン誌協会。今年は協会設立十周年の年にあたります。その正副理事長に集まつていただき、今後のタウン誌について語つていただきました。

周年を迎えます。播磨の古い文化を見直し、新しい文化を育てていくことをコンセプトに発行を続けています。

二年です。私が大阪に勤めていた頃、生駒のトンネルを抜けるとなぜかほととじたことを覚えています。曇つた空も大阪ではスマッグに、奈良では春霞に見えていましたからね(笑)。

—これからこのタウン誌に期待されているものは何でしょうか

★各地域に密着したタウン誌
—初めに各タウン誌の紹介をお願いします

笛間「月刊TOWNはりま」は昭和四十九年に創刊し、来年には二十五

上林「日本橋」は昭和五十四年に創刊し、来年二十周年を迎えます。本誌の名前から江戸というキーワードが思い浮かぶと思います。その歴史的遺産や江戸の気風を感じる老舗の多い街を大切にして、現代まで培われた伝統をアピールしていくように心がけています。

内山「月刊バスケット」という名前からスポーツを連想される方が多い

—これからこのタウン誌に期待されているものは何でしょうか
内山 それぞれの地域には独自の特色やライフスタイルがあり、タウン誌はそれぞれの地域生活に密着していることが要求されます。常に時代の変化に対応して何が期待されているのかをつかんでいかなくてはいけ

のですが、本当はいろいろなものが詰まつた小さな子供が持つバスケットをイメージしています。昭和五十三年に創刊し、今年で二十周年を迎えます。東京ディズニーランドのそばにある住宅地にあり、全国からたくさん的人が移り住んでいます。

ただ、住むための情報が足りないのが現状なので、少しでも生活に役立つ情報を提供し続けていきたいと考えています。

小泉「月刊神戸っ子」は今年で創刊三十七年目を迎え、この十一月号で四五〇号を数えます。長年にわたり神戸を見つめてきましたが、これからは再チャレンジのつもりで心を新たに取り組んでいこうと意気込んでいます。

★街と共に歩むタウン誌

—これからこのタウン誌に期待されているものは何でしょうか
内山 それぞれの地域には独自の特色やライフスタイルがあり、タウン誌はそれぞれの地域生活に密着していることが要求されます。常に時代の変化に対応して何が期待されているのかをつかんでいかなくてはいけ



内山明夫さん (月刊バスケット)

清水信夫さん (マイ奈良)

上林武人さん (月刊日本橋)

笹間清二さん (月刊TOWNはりま)

小泉康夫 (月刊神戸っ子)

ないです。

清水 奈良は古都としてよく知られていますが、だからこそ街の魅力を新鮮な切り口で伝えていくことが大切だと考えています。街を歩くだけでタイムトラベルできる独特的な街であり、しかも西洋文化一辺倒になりがちな現代において、人々が癒しを求めて訪れてくる街なのです。このような他にはない魅力を引き出していくことがタウン誌の役割だと感じています。

上林 一言でいうのは難しいですが、全てにおいて従来のものを見直す時期がきています。街と共に歩むのがタウン誌ですから、元気なタウン誌があれば街も元気になります。これがタウン誌の原点ではないでしょうか。また、その街の事務局的役割を担い、人々のネットワークを築いていくといった出版以外の活動も期待されているように思います。

笹間 人と人とのコミュニケーションづくりのきっかけにタウン誌がなければいいのではないでしょか。隣の人に教えたくなることを掲載し、読者がタウン誌を作っていくような形になればいいですね。

小泉 世界的に名高い歴史学者アーノ

ルド・トインビーが「地球上の地域社会の文化、経済、政治を支えてきたのは地方都市であり、それは二十一世紀に向かっても変わらない」と説いています。これからも地方の時代が続くでしょう。地方がしっかりとしていないとどうしようもない時代です。その意味をしっかりと受けとめ、初心に返り新しい出発をしていかなければいけませんね。

清水 会議に出席して、誰もが自分たちは地方都市であり、それは二十一世紀に向かっても変わらない」と説いています。これからも地方の時代が続くでしょう。地方がしっかりとしていないとどうしようもない時代です。その意味をしっかりと受けとめ、初心に返り新しい出発をしていかなければいけませんね。

内山 終りが近づいたときに、「また来年会いましょう」と言葉を交したときは感動的でした。

小泉 年を重ねることに盛り上がりをみせていくと思います。各分科会も盛況に行われ、タウン誌それぞれの情報が交換されて、栄養となってきたのではないでしょか。

★タウン誌同士の交流を深めて

栄養としていく

一年に一回、各誌もちまわりで日本タウン誌協会主催の全国タウン誌大會が開かれます。これも今年の新潟

大会で二十一回目を迎えました。この全国会議について感想をお聞かせください

笹間 全国会議に参加して仲間が大勢いることがわかり、たいへん励みになりました。今では組織もしっかりしてきましたので、これからが楽しみです。

上林 これからは誌面だけではなく、たとえばインターネットを使い、タウン誌協会からの情報発信も活発にしていくようになれば全国とのつな

★地方を盛り上げ情報発信を続ける

—今後のタウン誌協会の取り組むべき課題は何でしょうか

内山 地域ごとでは限界があると思いますのでそれを超えたところで何かやつていかなくてはと考えています。そのためには参加率を高め、参加者の層を厚くしていくことが一世紀へのビジョンを明らかにしていくひとつの方針ではないでしょうか。様々な考え方を持つ人が集まるよう、協会の存在を広くアピールしていくことが大切です。

清水 昨今の社会事情を見ていると暮らしおの安全と快適さは自分たちで確保するものだと誰もが実感しています。そのための情報提供がタウン

誌の使命のひとつだと思います。デジタルネットワークを効率よく使い、暮らしを守る通信網を構築することもできるのではないか。

上林 高齢化社会や環境汚染などが深刻な社会問題になっているので、タウン誌の役割が今以上に重要視されてくるでしょう。今年からは従来の神戸事務局（月刊神戸つ子内）に加えて、私ども月刊日本橋に東京事務局を構えましたので、これをきっかけにタウン誌協会の存在を全国に広めていきたいですね。

筆間 協会に加盟している北海道から沖縄までの五〇誌のネットワークを強調にすることが課題です。それぞれの地方を熟知した方々がパワーを持ちよって地方の時代を盛り上げ、今後も情報発信を続けていくのがタウン誌の大きな使命だと考えます。

小泉 明石海峡大橋の完成以降、本州と四国の交流の勢いは目を見張るものがあります。このことはこれから日本の日本を支える地方の時代がきていることを象徴しているようにみえ

ます。タウン誌も地方どうしの連絡をより深めていくことが大切でしょ

う。

★地元の活性化のためにも不況を乗り越え飛躍の時代へ

—最後にこれからタウン誌の夢をお聞かせください

筆間 赤穂では来年、大河ドラマの舞台になることもあり、観光誘致に期待しています。震災以降、減少していた観光客も明石海峡大橋によりかなり戻ってきてるので、これからはタウン誌も観光斡旋業務などを手がけるとおもしろいかもしませんね。

上林 去年、ホームページ「座・タウン」を立ち上げて各地の特産品を紹介したのですが、これがかなりタウン誌協会のPRに役立ちました。これは一例ですが、ビジネスに直結するのではなく、シルバーボランティアを集め、全国に発進するなど有意義な情報が必要とされていることを感じています。活字とデジタルネットワークの両者のメディアミックスの時代がきているのではないでしょ

うか。

清水 東京から発信されるマスメデ

イアでは、地域の生活に密着したキ

メの細かいサービスが期待できませ

ん。ですから自分達の生活に必要な

ものを考え、提供していくことが思つ

ています。

内山 今はカルチャーレッスンに人気が

あり、非常に熱心に皆さん学ばれて

います。地元の活性化のためにもタ

ウン誌が中心となりこのような活動

を盛り上げていくことが大切ですね。

上林 今の時代はハードだけでは人

は集まりませんから、ソフトの財産、

観光資源を生かす知恵をだしていか

なくてはダメですね。画一的なもの

には飽きてるので、参加できる形

がいいですね。タウン誌も活字で培

つたノウハウや人脈ネットワークを

活かせる時代にしなければなりません。

世界的に不況、不安定な時代で

すが、今こそ飛躍の時代として挑戦

していくことが大切でしょう。

(神戸市教育会館会議室にて)

●日本タウン誌協会加盟50社

1 郡士舘あさひかわ

(北海道)

30 神奈川県中央新聞社

(「リベルタ」(東京)

31 月刊タウン情報ながおか(新潟)

(「すすきのTOWN情報」(新潟))

32 グッドラックとやま(富山)

33 月刊ウララ(福井)

(「北海道」(北海道))

34 マイタウン奈良(奈良)

(奈良)

35 マイ奈良(奈良)

(奈良)

36 CITY Paper(福井)

(福井)

37 CITY LIFE(大阪)

(大阪)

38 Bird's Eye(大阪)

(大阪)

39 月刊神戸つ子(兵庫)

(兵庫)

40 うおみ情報(兵庫)

(兵庫)

41 上郡民報(兵庫)

(兵庫)

42 月刊TOWNはりま(兵庫)

(兵庫)

43 月刊レジャーハーバー(広島)

(広島)

44 うおみ情報(広島)

(広島)

45 くらしの情報(広島)

(広島)

46 月刊ナイスタウン(香川)

(香川)

47 月刊はかた(福岡)

(福岡)

48 月刊情報誌くるめす(長崎)

(長崎)

49 ザ・ながさき(長崎)

(長崎)

50 週刊レキオ(沖縄)

(沖縄)

●事務局

神戸・月刊神戸つ子

TEL 078-330-2246

東京・月刊日本橋

TEL 03-3329-6004

●座・タウンのアドレ

ス(神戸)

http://www.gspstar.or.jp/

29 西多摩新聞(リエゾン)

(東京)

30 西多摩新聞(リエゾン)

(東京)

31 月刊タウン情報ながおか(新潟)

(「すすきのTOWN情報」(新潟))

32 グッドラックとやま(富山)

(富山)

33 月刊ウララ(福井)

(「北海道」(北海道))

34 マイタウン奈良(奈良)

(奈良)

35 マイ奈良(奈良)

(奈良)

36 CITY Paper(福井)

(福井)

37 CITY LIFE(大阪)

(大阪)

38 Bird's Eye(大阪)

(大阪)

39 月刊神戸つ子(兵庫)

(兵庫)

40 うおみ情報(兵庫)

(兵庫)

41 上郡民報(兵庫)

(兵庫)

42 月刊TOWNはりま(兵庫)

(兵庫)

43 月刊レジャーハーバー(広島)

(広島)

44 うおみ情報(広島)

(広島)

45 くらしの情報(広島)

(広島)

46 月刊ナイスタウン(香川)

(香川)

47 月刊はかた(福岡)

(福岡)

48 月刊情報誌くるめす(長崎)

(長崎)

49 ザ・ながさき(長崎)

(長崎)

50 週刊レキオ(沖縄)

(沖縄)

●事務局

神戸・月刊神戸つ子

TEL 078-330-2246

東京・月刊日本橋

TEL 03-3329-6004

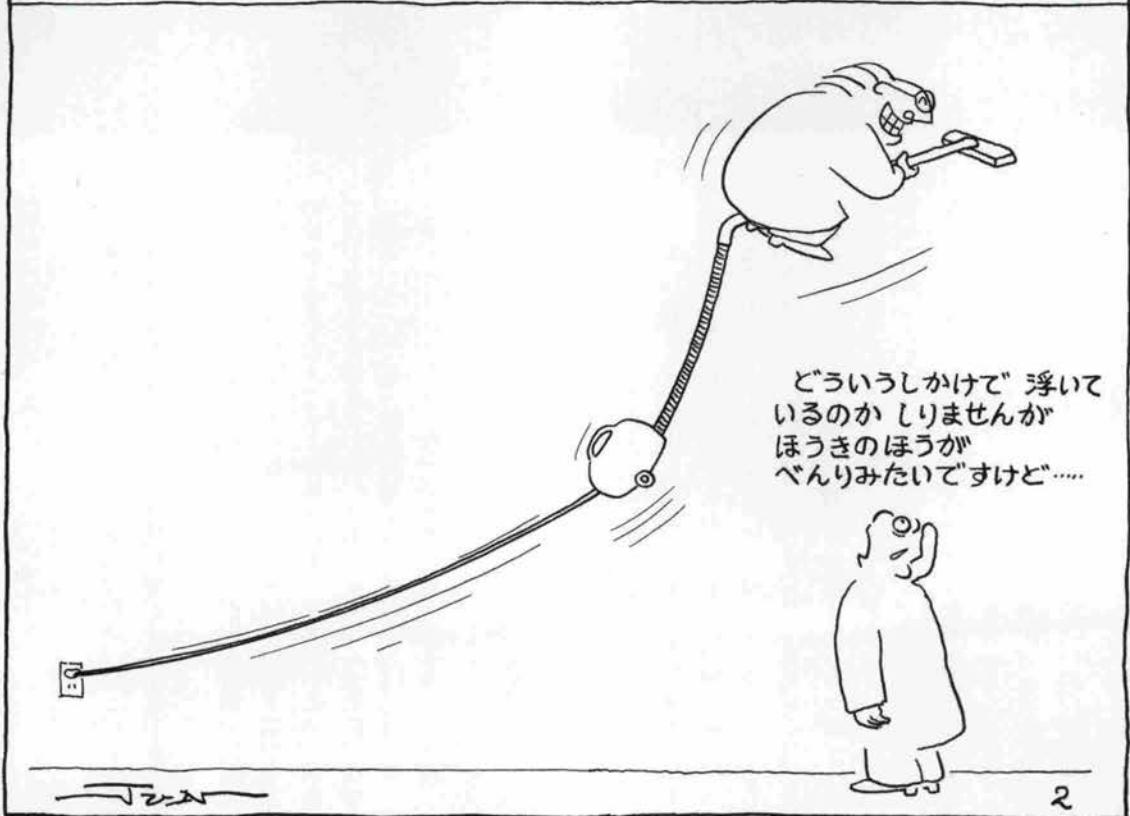
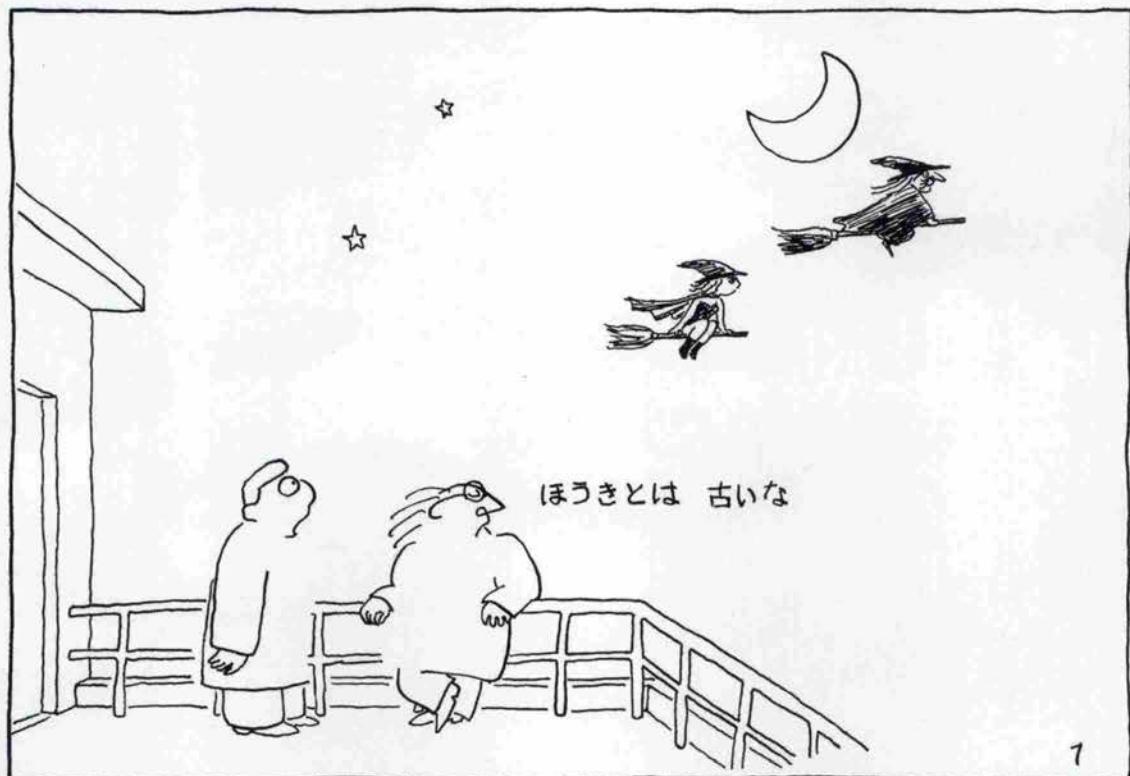
●座・タウンのアドレ

ス(神戸)

http://www.gspstar.or.jp/

おなじみプロフェッサーPの研究室

—岡田 淳—



ある集い 元町ミュージックウィーク実行委員会



街がステージ、みんなでコンサート

開港から一二〇年余の歴史をもつ元町が、美しいクラシック音楽の流れる町に。そんな思いで、十月十六日から約二週間、元町商店街を中心に、「元町ミュージックウィーク」を開催いたしました。私自身、元町一番街商店街で呉服店を営んでいますが、五年ほど前に、着物や帯に楽器や楽譜の絵柄を染めたオリジナル商品の新作発表会のため、店頭でコンサートを開きました。それが好評で、多数のお客様に喜んでいただき、震災後も、春と秋の年二回、お店の二階でミニコンサートを行ってきました。元町界隈を見渡してみると、鳳月堂ホール、ヤマハ神戸店、アルチザンハウス（バイオリン館）、アマデウス（喫茶店）など、ミニコンサートを行っているところもあります。

「ミニコンサートが一体となり、元町全体でクラシック・コンサートを開けば、皆さんに、元町がハイセンスなイメージをもつていただける」今年一月には、有志が集い「元町ミュージックウィーク実行委員会」を結成しました。週二回、メンバーは仕事の合間をぬつて、各店で培つたノウハウをもち寄り、手づくりの企画を練つてきました。意見がぶつかることもあります。おかげ様で、創意工夫のコンサートを開催することができました。演奏者の皆さんも、伊藤ルミさん（ピアニスト）、池宮正信さん（ピアニスト）、金関環さん（バイオリニスト）、伍芳（古箏）さんなど一流のミュージシャンにご参加いただきました。実行委員会では「小さく生み、大きく育てる」ことがモットーです。ゆくゆくは、先輩格の神戸ジャズストリートとそろつて、「神戸音楽祭」を開催することを夢見ています。



「美しい日本のことばどうたを」めざして30年

神戸波の会は、私の師であり、日本歌曲の先駆者、故四家文子先生の提唱なさった「美しい日本のことばどうたを」に呼応して、昭和四十三年九月に誕生いたしました。

会の活動は三つ。その一つは演奏発表会で、第一回は昭和四十四年七月に神戸国際会館大ホールで開かれました。それ以後だいたい年一回それぞれのテーマをもつて「定例演奏会」を開いています。

活動の第一は「サロン」と称し、東京からまた地元の著名な声楽家・作曲家・言語学者らにより、日本歌曲の演奏に必要なあらゆる分野からの有意義な研究会を開いてきました。諸般の事情でお休みしていますが、近い将来、是非再開したいと思っています。

活動の第三は、日本歌曲に興味をもち勉強の意欲に燃えておられる若い声楽家の活動を促す「推薦音楽会」です。しかし、これは阪神大震災のあとは「風薫るコンサート」とタイトルを一新し、新進の方々ならびに若い会員の出演により新しい息吹が吹き込まれ、年毎に盛況を重ね、現在に至っています。昭和四十八年の第一回を振り返りますと、新人たちの日本歌曲演奏に格段の進歩が見られます。これは「美しい日本のことばどうたを」の趣旨実践の成果だと確信しています。

神戸波の会では、今後、ますますその趣旨を重んじ、詩情ゆたかに心から心へ通じる歌を、そして、日本の歌が大勢の方に愛唱されることを願つて研究と普及に努めたいと存じます。

（会長 藤井公子）

宝塚の新しい風が吹く

～11月バウホール公演～



児玉明子

宝塚には、2千人収容の宝塚大劇場と500人席の宝塚バウホールの2つの劇場がある。

通常、大劇場では花、月、雪、星、宙の五組が約60名の各組のフルメンバーで、芝居とショードの2本立て、あるいは1本立ての大作を上演している。

一方、バウホールでは、20名ほどの各組のピックアップメンバーが、さまざまな形式の作品を演じている。もともと、若手のスター・やスタッフの養成を主目的に立てられた劇場で、客席が近くコンパクトなこの空間からは、スターも作品も大劇場とは一味違う魅力を発してきた。

今年はバウホール開場20年の記念の年に当たり、前半は名作のリバイバル公演が組まれた。

11月のバウホール公演は3本。主演する生徒の方は、初主演が2人、ラストステージが1人。演出家は入団6年未満の若手の揃い踏みとなる。

伊藤直加が二役に挑戦

和泉市出身で、花組の伊藤直加の初主演

宝塚には、2千人収容の宝塚大劇場と500人席の宝塚バウホールの2つの劇場がある。

通常、大劇場では花、月、雪、星、宙の五組が約60名の各組のフルメンバーで、芝居とショードの2本立て、あるいは1本立ての大作を上演している。

一方、バウホールでは、20名ほどの各組のピックアップメンバーが、さまざまな形式の作品を演じている。もともと、若手のスター・やスタッフの養成を主目的に立てられた劇場で、客席が近くコンパクトなこの空間からは、スターも作品も大劇場とは一味違う魅力を発してきた。

今年はバウホール開場20年の記念の年に当たり、前半は名作のリバイバル公演が組まれた。

11月のバウホール公演は3本。主演する生徒の方は、初主演が2人、ラストステージが1人。演出家は入団6年未満の若手の揃い踏みとなる。

伊藤直加が二役に挑戦

和泉市出身で、花組の伊藤直加の初主演

宝塚には、2千人収容の宝塚大劇場と500人席の宝塚バウホールの2つの劇場がある。

通常、大劇場では花、月、雪、星、宙の五組が約60名の各組のフルメンバーで、芝居とショードの2本立て、あるいは1本立ての大作を上演している。

一方、バウホールでは、20名ほどの各組のピックアップメンバーが、さまざまな形式の作品を演じている。もともと、若手のスター・やスタッフの養成を主目的に立てられた劇場で、客席が近くコンパクトなこの空間からは、スターも作品も大劇場とは一

味違う魅力を発してきた。

今年はバウホール開場20年の記念の年に当たり、前半は名作のリバイバル公演が組まれた。

11月のバウホール公演は3本。主演する生徒の方は、初主演が2人、ラストステージが1人。演出家は入団6年未満の若手の揃い踏みとなる。

伊藤直加が二役に挑戦

和泉市出身で、花組の伊藤直加の初主演

演出家児玉明子のデビュー作である。

「主演の伊藤直加には、インド人とその後世となるイギリス人の二役を演じてもらいました。入団11年目で、キャリア的に引き出しあるたくさんあるので、その彼女が演じが

いがあり、多彩な魅力を發揮できるスタイルを考えいくうちに、当初回想シーンにしようと思っていたインド人の部分を拡大して、一幕と一幕で性格も表現の仕方も全

く違う二人の人間を演じてもらうことにしました。結ばれるはずの魂があり、その世界で成就しなかつたことで次世代もその魂を

求める、と言う意味での輪廻転生を考えた

んです。結ばれて昇華するまで何度も生まれ変わつて惹かれ合う。そういうものが永遠の愛なのではないか。この考え方をベ

ースに打ち合わせを重ねていくと、音楽もセットも円を描くようなイメージになつていくんんですね。不思議です。いま、自分の台本に捉られないで、演技者の動きで見えてきたものを取り入れながら作っている最中で、わたし自身もこの作品がどんなふうに変わって舞台に広がるか楽しみです」。

学生時代、バイトでお金を貯め、バック

バッカツアードでいろんな国を旅した経験を持つ児玉さん。旅を重ねるうち、日本人とは、という思いが強くなってきた。そのと

きに宝塚を見て、とても日本的なものを感じたのが入団のきっかけ。実際に目で見た

インドを舞台にするだけに、その土地の持つ感覚は嘘の無いリアリティを出したないと

いう。

24歳の若々しい意欲的な試みがステージを埋めそ�である。

見納め！華麗なる風花舞のダンス

「LAST STEPS」は、昨年デビ

ューした萩田浩一が構成・演出する。ダン

スの名手として定評のある月組のトップ娘

役、風花舞のラストバウホール公演となる。

「風花さんのダンスの魅力はフォルムの

美しさにある。ものすごい努力家であるし

稽古場もオフも背筋のピンと伸びた凛としたものをいつも感じさせる人。ベースであ

るクラシックバレエが、彼女の魅力が最

大限發揮できるものだと思いますが、トウ

シューを履く踊りをやってもらうには稽

古時間が短いので、残念ながらお見せでき



児玉明子



児玉明子

「風花さんのダンスの魅力はフォルムの美しさにある。ものすごい努力家であるし稽古場もオフも背筋のピンと伸びた凛としたものをいつも感じさせる人。ベースであるクラシックバレエが、彼女の魅力が最大限発揮できるものだと思いますが、トウ

シューを履く踊りをやってもらうには稽古時間が短いので、残念ながらお見せでき

持つ児玉さん。旅を重ねるうち、日本人とは、という思いが強くなってきた。そのと

きに宝塚を見て、とても日本的なものを感じたのが入団のきっかけ。実際に目で見た

インドを舞台にするだけに、その土地の持つ感覚は嘘の無いリアリティを出したないと

いう。

24歳の若々しい意欲的な試みがステージを埋めそ�である。

類人猿の寝相拝見！



赤ちゃんを抱き、仰向けに眠るチンパンジー



亀井一成の

ズーム イン ズー

**ZOOM
in
ZOO**

NO.378

「おっちゃん、ボクはうつ伏せで眠るから、母さんに『仰向きになりなさい！』とよく云われます。おサルさんは、夜、どのように眠っているのですか？」

小3男子からの質問がありました。

眠り方の質問は、エサに次いで多いので、『動物たちの眠り方』を、写真で紙芝居を作り見せていました。

かつて、動物園で「円卓会議」のさなか、園長さんに、

「サルはどうやって眠るのか、汗はかくのか」とマスコミから問い合わせの電話がありました。

「ウー、ムニヤ、ムニヤ、君、答える！」

折しも、わが国で初めてのチンパンジーの人工飼育のさなか、人間の赤ちゃん同様の育ちぶりに、ありがたいことにマスコミからの問い合わせがよくあつたのです。

もちろん、眠り方や汗についてもでした。

「チンパンジーの出産と人工哺育」と題し



稻わらで大きな巣を作る、チンパンジーのジョニー



毛布やタオルで巣を作つて、ゴロン（チェリーちゃん）

て、1963年、日本動物園水族館雑誌に「第三報」まで詳しく報告していたのであります。

【「チンパンジー やオランウータンの巣作りが見れない近代動物園】

古い話でございますが、王子動物園が開園したのは昭和26年3月20日、ボクはその前身、旧諏訪山動物園で、ゾウの諏訪子や、サルたちの暖房のために、泊まりこんで石炭ストーブを焚いたのです。

「バカもん、温度が下がつてるじゃないか！」

バシーンと当時の諏訪山の松村園長に竹刀で「しばかれた」と忘れられません。

ガチャ、ガチャ、ガチャと灰を落してから、ストーブに黒い石炭を適宜入れるのにもコツがあつて、下手をすると、す

ぐ燃えつき、諏訪子がふるえていると怒鳴られた一日おきの宿直が、今日のボクを育てくれたのです。

それから49年、今日の王子動物園での

冷暖房は、それは優れもの。

フロアヒーター(床暖房)とともに、室内はエアコンで平均常温25℃に保たれて

います。

コアラをはじめ、チンパンジーも、オランウータンも、ゴリラも、これで快適

に過ごすことができます。また、ゾウ舍

には赤外線ヒーターがずらりと並んでい

ます。

ベンギン冷房舎はもちろんのこと、ホ

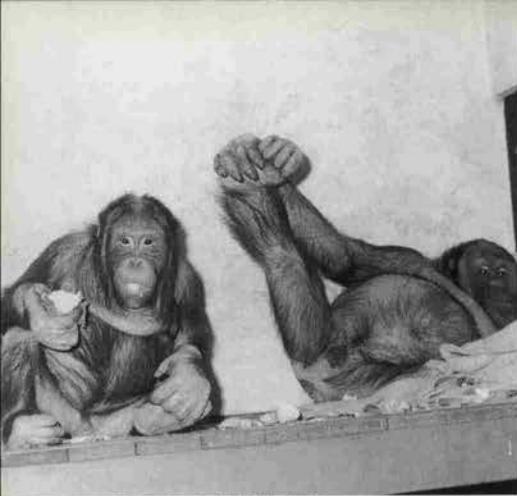
ッキョクグマ、ユキヒョウなどの冷房も

準備しています。

今では、動物たちの寝床には、敷わらな

どが殆ど使われていないから、動物本来の

寝床作りを見ることができないのです。



オランウータンも仰向ぎに眠る



巣は作らず、座って眠るタイワンザル

動物の鳴き声 テレフォンサービス

078-881-8102



亀井一成 こども動物相談コーナー

☆野生動物の特徴習性、観察のしかた、
飼育体験などをお答えします。

- 日曜日と祝日のみ
- 10:00~11:30、13:30~15:00
- 動物科学資料館内



たのしい紙芝居やぬり絵クイズ
が大人気。かわいい動物シール
をプレゼント！

そこで、チンパンジー や オランウータンは毎夜、寝床を作り、ゴロン、と仰向ぎに眠ることをお教えたましましよう。

「毎夜作りなおす、稻わら“ぶとん”」

山地林にすむ野生のチンパンジーは、

日中ほとんど地上で過ごしますが、夜寝

るときには木の上で枝を折り曲げ、小枝

を敷き、人間が座れるぐらい大きな巣を

作るのです。

その巣作りが果たして親たちからの学

習なのか、本能なのかが、とても興味が

もたれました。

日本で初めて人工で育てたチンパンジ

ーのチエリーと、その双児の弟たちの金

と銀。その成育ぶりと精神発達に、いつ

も毎日が感激の発見ばかりでした。

すき間にスプーンを突つこんだり、空

「チエリー、巣作りができるのか？」

もちろん野生育ちの父親ジョニーは、
稻わらで毎夜巣を作つて仰向ぎに眠つて
いますが、わが家で育つたチエリーたち
は、親たちのしぐさを見たことがあります。

「巣作りは本能だ。」

そう分つたとき、巣材が何ひとつない床
に眠る今日のチンパンジーたちが何だか
哀れでなりません。

ところで汗はどうでしょう。900グ

ラムそこそこの赤ん坊チンパンジーは、

鳥たちは、巣材をせつせとよそから運
んでくるので、巣がよく目立つことにな
ってしまいます。

知恵者のチンパンジー や オランウータ
ンは決して他の場所の巣材を使わないで、
毎夜、ここだと決めた所の木の枝で巣を
作ります。それが森林の中では目立たず、
とても安全なのです。こうした巣のこと
をネストというのです。ところで他のサ
ルたちは巣など作りません。抱き合い座
つたまま眠るのですよ。

始めたのにはびっくり、伝達なのです。

ある日、そのチエリーが、タオルや、

エサの白菜を丸くおいては、ゴロンと仰

向ぎになつていました。

鳥たちは、巣材をせつせとよそから運
んでくるので、巣がよく目立つことにな
ってしまいます。

知恵者のチンパンジー や オランウータ
ンは決して他の場所の巣材を使わないで、
毎夜、ここだと決めた所の木の枝で巣を
作ります。それが森林の中では目立たず、
とても安全なのです。こうした巣のこと
をネストというのです。ところで他のサ
ルたちは巣など作りません。抱き合い座
つたまま眠るのですよ。

「巣材はその場所のものを使う」

握った手にびっしり汗をかき、少しも
じつとしていない2才頃には、おデコや
鼻すじ、といつても低い鼻ですが、ちや
んと鼻にも汗をかいていたのです。

見直そう私たちの食料・食文化

「おいしいごはんを食べよう県民運動」について

お話を伺った人 **常深邦晃さん** (兵庫県農林水産部食品流通課長)



私たち日本人は米を主食とした食生活を送っていましたが、今日ではライフスタイルや嗜好の変化などにより米ばかりが進んでいます。そこで、単なる食糧問題にとどまらず、食生活の変化が与える健康や環境などの諸問題について、県農林水産部食品流通課長の常深邦晃さんにお話を伺いました。

現代は飽食の時代と呼ばれるように私たちの食生活は年々豊かになってきました。しかし食生活の欧風化や嗜好の変化などにより、米の消費量は減少しています。その結果、余剰

具体的な米の消費量の減少はどれくらいなのでしょうか。

昭和三十七年には一人あたり一年間に一八キロの米を消費していましたが、平成八年には年間六七キロまで減少しています。その上、米の生産は平成六年から四年続きの豊作で、災害時などを想定した国の必要備蓄量一五〇万トンに対し、三七〇万トンの米が余っている状態です。仮に国民一人ひとりが一日の米の消費量を茶碗で〇・五杯増やすことができれば、全国的には一五〇万トンもの消費量を増加することがで

きのものです。

県ではどのような対策がとられているのでしょうか。

「昨年から『おいしいごはんを食べよう県民運動』を始めています。この運動は、水田の持つ環境保全機能を生かし、美しい景観を守りながら、米を中心とした日本型食生活により健康的な食生活を推進し、米の消費拡大を図るものです。」

具体的な取り組みはどのようなものでしょうか。

「おいしいごはんを食べよう県民会議」を開き、消費者団体、

流通団体、地域団体などの方々に米を中心とした食事の良さ

の見直しについて検討をいただいている。この県民会議で

の貴重なご意見は今後の運動に役立てていきたいと考えてお

ります。また、幼稚園でお米の話を紙芝居でしたり、保護者を対象に栄養士によるごはん食の勉強会などを開いています。小中学生を対象に「ここもお米サミット」を開催したり、「ひょうごつ子コメづくり体験事業」などで稲作作業を体験する活動も行っています。実際に米を自分で作ることによって農業への理解を深めてもらうことが目的です。今後は、おにぎりコンテストや料理講習会などを実施し、より多くの人々にごはん食への関心を持っていたいと考えています。

農家の高齢化も大きな問題のひとつです。働き手が足りない農家には、まわりの農家が作業を手伝うなど、地域が協力して農作業を進めているところもあります。最近では農業経験のない人でも農業を始める方が少しずつですが増えています。そのような方々を新規就農者と呼んでおり、今後の農業就業人口として期待しています。

また、兵庫県産米のイメージアップを図るためコシヒカリ一〇〇%の兵庫県産米ブランドを「夢ひょうご」としてPRしています。

平成十一年三月には「日本型食生活の行動プラン」を策定することとしております。これは米を主食とし、地域の野菜などの特産物を副食とした栄養的にもバランスの取れたごはん食の良さを見直し、健康で豊かな食生活の実現を推進するものです。

今、取り組んでいる運動を今後は他府県にも呼びかけ、全国的に発展させていく考えです。二十一世紀は環境と食料の二つが大きな問題になるといわれています。国民全体で食生活に対する意識を変えるなければ根本的な解決は望めません。日本本来の米文化を見直し、健康的な生活を送っていきたいですね。」

私たち一人ひとりがごはん食の良さや健康的な食生活の大切さを再認識し、先人が築いてきた素晴らしい食文化をこれからも受け継いでいきましょう。

なんでもあれ お米は日本の主食



イラスト／佐藤晴美

中村友一の

味
街

連載 8

料理司が客と対し得るのは料理を通してである。料理司が料理と一体にならなければ、客に対するさまは、リラックスの「この年、この月、この日、客を迎えてする」こと、菜は生涯中この一回の他にあらず」という一期一会の心に他ならない。

ボテルオーベル神戸
メインバー エメラルド

海外に出張して、仕事を終え、ほっと一息入れる時は、ホテルのバーに限る。オンザロックの氷がグラスの中できこハクの液体と共にゆらゆらと揺れチロチロと鳴る。ひとつくち飲んでまたグラスをゆする。The day is done——一日の業（わざ）は終りぬ——の感が強い。翌日また同じバーを訪れるがバーテンダーとも顔見知りになつてジョークのひとつも出たりする。「タイタニックが沈む寸前、目の前の水

昭和二十七年に東京のオーテルオーケークテが開業し、同窓生の牧野靖（オーテルオーケークラ常務取締役）との縁もあってオーケードバーに通つた。一杯目のハイボールが終りかけて、手許のグラスの氷がカラカラと鳴ると、その音だけで即座にウエイターがとんで来てお代りをきく。これぞプロのサービス、本来のもてなしの心。グラスの中でオーケークラのブランドがきらりと光っていた。オーケードは昔も今もグローバルな雰囲気の中で、会話がダイナミックに乱舞する。それと対照的に神戸のメインバー・エメラルドは一日の工ビローグを迎えるのにふさわしい優雅さが漂うバーである。西脇の三吉。（つづく）

塗り、手前の肘掛BAR（横木）もグレーのレザー。林立する三百五十種類、千本のボトルがダウンライトに反射して、にび色に光り、バー全体のグレー・トーンと絶妙にコーディネートしている。酒の色が見える程度に明るく、客の心の秘密を守る程度に暗く、間接照明をこれほど巧みに

使つてある酒場は少ない。窓の外は六百五十坪の日本庭園、嵯峨野を思わせる竹林の彼方に波止場の船とクレーンの風景が広がる。和の伝統美と現代的メカニズムがブレンドして妙である。

六時すぎの止まり木は常速で賑わう。「洋風繩のれん」の風情で、きまつた席にきまつたボーズで、きまつた酒を飲んでいる。英語でBARF LYという。私もその一人。ボトルを一本入れておけば、後は何度行つても、氷、氷、そしてサービスはタダ。夕方のハッピー・アワーはカマンベールのカナッペがつく。加藤マネージャーははじめ六名のスタッフは、一度来た客の嗜好を忘ることはない。日曜日などは夫婦でのむことが多い。最初の一杯は、何といってもマーティニー。ユニーカな人柄の伊澤バーテンダーが私の好みに合わせてドライに仕立てる。しゃきつとした切れ味でジンの香がのどをしめる。正にカクテルの神髄である。ワイルフはジンリッキー。ここは生のライムをスパッと半分に切つて浮かべてくれるのがにくい。マーティニーの味を教えてくれたのは、旧友三宅正己（田嶋真珠取締役）。旧オリエンタルのバーでオリーブを口に含み、楊子をバーに置きグラスの柄を持つてキュッとあおる。そんな粋なジェスチャーの似合う男である。現在、闘病中の彼と共に杯を上げる日の一日も早からんことを祈りつつ……。



窓から見える景色が素晴らしい

ホテルオークラ神戸
「メインバーエメラルド」

神戸市中央区波止場町2-1
TEL.078-333-3524
営業時間16時～23時
(土・日・祝日は14時より) 無休

- ・アボガドとタラバガニのカクテル 1700円
- ・クラブハウスサンド... 1500円
- ・春巻3本 600円
- ・各種カクテル 950円より
- ・ウイスキー 850円より



窓から見える景色が素晴らしい



月刊 神戸っ子およびこのマンガについてのご感想をお寄せください。もれなく映画等のチケットを差し上げます。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通3-1-18ツインズアビル4F「月刊 神戸っ子・450号マンガ係」

神戸っ子450号記念 大盤振る舞い

プレゼント!

いつもご好評をいただいている「小関みか子のTASTYゴルフ」が、神戸っ子450号を記念し、大盤振る舞いのプレゼントを企画しました！

■ プレゼント商品

- ・ボロシャツ 2名様
- ・ソックス 5名様
(男女どちらでも可)

ご希望の方はハガキ、封書、FAXのいずれかで下記の要領でご応募ください。

■ 応募要領

次のアンケートのお答えとご希望のプレゼント商品名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いて下記までお送りください。(サイズなどは当選者の方のみお聞きします)

■ アンケート

- 今までにこのページに掲載されたゴルフ場（下記参照）の中で興味を持ったゴルフ場はどこですか
- 取材してほしいゴルフ場、またはおすすめのゴルフ場

を教えて下さい。
(例えば、コースが最高！ キャディさんがステキ！ レストランがおいしい！ おもしろいコンペ企画がある！ などなど。また、実際には知らないでもこんなゴルフ場を探してほしいという希望でもOKです)



～コンペ企画も数々こなす、みか子嬢の
おいしいゴルフの楽しみ方～

■ 送り先

ハガキ、封書の場合は

〒650-0011 神戸市中央区下山手通3-1-18ツインズアビル4F

月刊神戸っ子「ゴルフ」係まで

FAXの場合は 078(331)2795 まで

いずれの場合も11月25日必着

*アンケート内容をもとに小関みか子がこれからも取材を続けます。
皆さんにステキなゴルフ情報を届けますので、ご期待ください！

これまでの掲載
ゴルフ場一覧

1. 北六甲カントリー倶楽部 (97年 7月号)	6. ロータリーゴルフ倶楽部 (98年 5月号)
2. 有馬ロイヤルゴルフクラブ (97年 8月号)	7. タイガースゴルフクラブ (98年 6月号)
3. ダンロップゴルフコース (97年 12月号)	8. ローズウッドゴルフクラブ (98年 8月号)
4. 六甲国際ゴルフ倶楽部 (98年 2月号)	9. アークよかわゴルフ倶楽部 (98年10月号)
5. 三木ゴルフ倶楽部 (98年 3月号)	